学校教育関係者

町　　長	辻　　一幸	町議会議長	望月　健市
教　育　長	佐野　正昭	教育長職務代理者	江本たまき
教育委員	本　敏己	教　育　委　員	望月　敏明
教育委員	望月　信子		

教育予算

早川南小学校教育予算

管理費	４，５９６，０００
振興費	２，２１０，０００
無償化事業費	６５９，０００
計	７，４６５，０００円

日課表

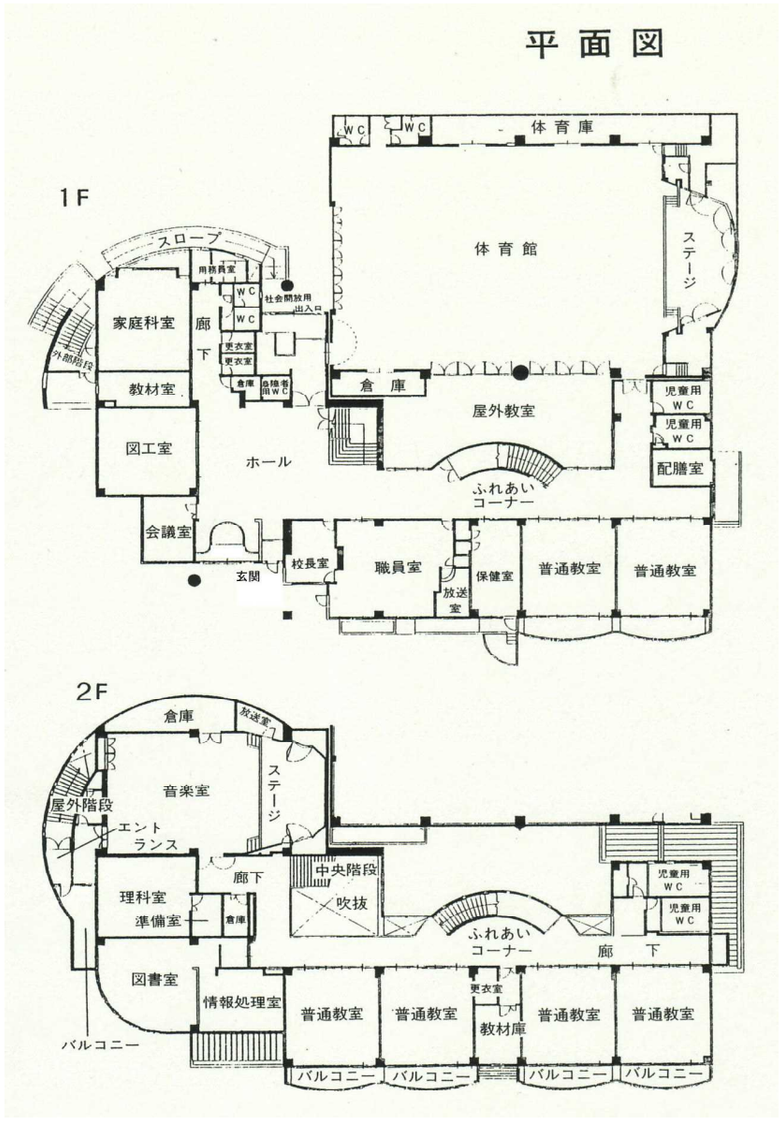
割振内容	時　　刻
スクールバス	７：３５（本村）７:４５（大島）７：５３（赤沢） ７：４５（柳島古屋）７：４９（役）７：５５（やませみ） ７：５７（小縄）
児童登校	８：０５～　８：１５
職員朝礼	８：１５～　８：２０　＊朝礼：月，水
朝活動	８：２０～　８：３５
朝の会	８：３５～　８：４５
１校時	８：４５～　９：３０
２校時	９：３５～１０：２０
青空時間	１０：２０～１０：４５
３校時	１０：４５～１１：３０
４校時	１１：３５～１２：２０
給食・昼休み	１２：２０～１３：２０
清掃活動	１３：２５～１３：３５
５校時	１３：４０～１４：２５
６校時	１４：３０～１５：１５
帰りの会	１４：２５～１４：４０　（５校時の日） １５：１５～１５：３０　（６校時の日）
吹奏楽活動	火・金曜日（４月～１０月）１５：３５～１６：２０ 木曜日　　１４：４５～１６：２０ 火・金曜日（１１月～３月）１５：３５～１６：００ 木曜日　　１４：４５～１６：００
児童下校 スクールバス	１６：３０（４月～１１月３日　バンドフェスティバルまで） １６：１０（１１月７日～２月） １６：３０（３月）

校地・校舎

1　位置
　東経１３８°２２′　北緯　３５°２４′　標高３２２ｍ

2　校地面積
　敷地面積　６４４１．７１㎡
　校　　舎　　９１８．９８㎡
　延床面積　１６６９．４１㎡
　体育館　　６３９．２４㎡
　プール　　９９２．７１㎡

3　校舎平面図



平成２９年度

学　校　要　覧

早川町立　早川南小学校

〒409-2732　山梨県南巨摩郡早川町高住５７４番地

TEL 0556-20-5015　FAX 0556-20-5004

E-mail: ecole-31@hayakawa-minamisho.ed.jp

URL: http://www.hayakawa-minamisho.ed.jp

早川南小学校校歌

作詞　秋山晴時
作曲　渡辺正巳

一
したたる山の濃緑に
平和のかがやいて
春木の風がせらぎが
早川のせせらぎが
おおこの瀬に合うところ
おおこに自主創造の旗のもと
学ぶ心のすがしさよ

二
大空をゆく白雲に
渓のもみじが色はえて
七面山に湧くにじが
希望を結ぶ丘と里
おおこに和協進取の足なみの
そろうわれらの楽しさよ

三
ゆくてけわしく遠くとも
友愛かたきスクラムに
文化の花のかおる庭
真理のあかりともる窓
おお母校六年ゆかしき学び舎よ
早川南小学校

本校の概要

本校は富士川と早川の合流地点から早川沿いに9.5㎞遡った早川町の入り口地点に位置している。信仰の山「七面山」の登山口として知られ，年間７万人を超す参拝者が訪れる所でもある。

昭和４３年，当時の本建小学校と五箇小学校が統合して早川南小学校が誕生し，昭和５８年，硯島小学校も統合して現在に至る。

校舎は木の素材を生かしながら広くとられた廊下と曲線の階段など，子どもの健やかな成長への思いが至るところにあふれた造りである。全校２１名の子どもたちは“どこに行っても美術館，どこに行っても図書館のある学校”で明るく元気で素直である。

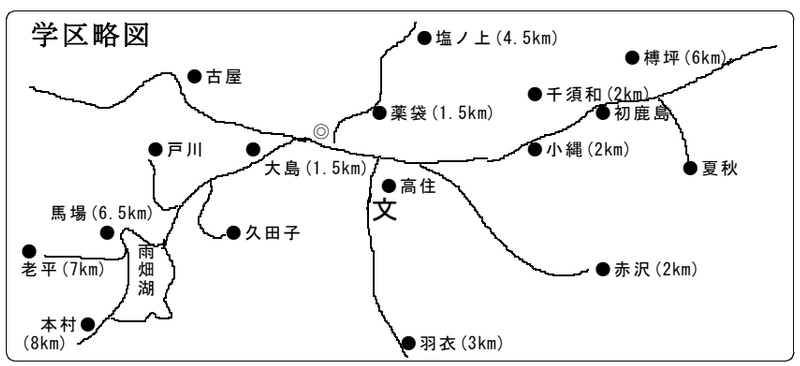
昭和４６年以来，吹奏楽の演奏を教育活動に取り入れ，児童が主体的に活動し，特色ある学校づくりを目指して取り組んでいる。

沿革

昭和
- ４３．　４　本建小と五箇小を統合し，早川南小学校となる
- ４３．１２　校歌・校章を制定し，校旗を樹立し学校創立記念日とする
- ４４．　３　僻地集会所「体育館」完成
- ４８．　７　プール完成
- ５１．１０　安全教育優良校として受賞
- ５２．１２　校庭に諸遊具を設置
- ５２．１２　統合１０周年記念式典を挙行
- ５３．１１　僻地子供大会に，ブラスバンド初出演
- ５４．　２　体育優良校として受賞
- ５５．　１　学校保健健康優良校として県医師会より表彰
- ５５．　５　県金銭教育研究指定校
- ５６．　１　ＮＨＫ音楽コンクール優秀賞受賞
- ５８．　４　硯島小学校と統合し，児童１９名増え７４名となる
- ５９．１１　早教協研究推進センター校として公開研究発表会開催
- ６２．１０　県教委指定校として公開研究発表会開催「心と体の健康教育」
- ６３．１２　早川南小学校教員住宅竣工

平成
- ４．１２　早川南小学校創立２５周年記念式典を挙行
- ７．　３　音楽教育振興賞受賞（毎日新聞社，音楽教育振興財団共催）
- ８．　４　新校舎建築着工
- ８．　８　全国小学校管楽器浜松バンドフェスティバル出演
- ９．　３　早川南小学校新校舎および屋内運動場竣工
- ９．１１　関東音楽教育研究大会研究演奏出演
- ９．１１　学校図書館活用公開研究発表会
- １０．１１　山梨県へき地教育振興大会開催（吹奏楽出演）
- １１．　６　地域環境財団ＣＤレコーディングに参加
- １３．　２　全国小学校管楽器合奏フェスティバル東日本大会出演
- １３．１１　県子ども父母教師の会でアフガニスタン支援活動を提案
- １５．　２　全国小学校管楽器合奏フェスティバル東日本大会出演
- １５．　４　県教委より，「遠くのまち体験活動」指定校
- １５．　６　プール竣工
- １６．　４　県教委より，「遠くのまち体験活動」指定校（２年次）
- １６．１１　山梨県へき地教育振興大会開催（吹奏楽出演）
- １８．１１　早教協研究推進センター校として公開研究発表会開催
- ２０．１０　吹奏楽を中心とした活動が山人会団体奨励賞を受賞
- ２２．１０　東日本管楽器教育研究会山梨大会で県代表発表として演奏発表
- ２３．１１　山梨県へき地教育振興大会・研究会開催（吹奏楽出演）
- ２５．　８　富士山河口湖音楽祭オープニングコンサート出演
- ２７．１１　早教協研究推進センター校として公開研究発表会開催
- ２９．１２　創立５０周年

学区略図



Ⅰ 学校経営方針

国の第２期教育振興基本計画，学習指導要領，教育基本法などの教育関連法等に基づき，山梨県学校教育指導重点，早川町民憲章を指針として，個性を尊重し，よりよい人格の完成をめざす学校教育を創造する。そのために，地域・学校・児童の実態に即した教育目標を設定し，創意ある日常実践と学校経営に努める。

（１）互いに高めあい，互いに補完しあう，組織として機能する職員集団であること
（２）児童理解と保護者との連携を大切にする，使命感あふれる専門職者であること
（３）教育課題に的確に対応する，責任感と活力に満ちた信頼される学校であること

Ⅱ 学校教育目標

平和と真理と正義を尊重する精神を養い，個性を伸ばし，良き社会人としての「生きる力」を身につけ，心身ともに健康な人格を形成する。

まごころ教育

「か　し　こ　く」自ら学び，自ら課題を解決する，創造力のある子どもの育成
「つ　よ　く」生涯を通じて安全で健康な生活を送る子どもの育成
「な　か　よ　く」自他を敬愛し，豊かでしなやかな心を持った子どもの育成
「た　く　ま　し　く」社会の変化にたくましく対応する子どもの育成

Ⅲ 教育目標を達成するための基本方針

Ａ：児童の資質に関して

（１）すべての児童に，基礎的・基本的学習内容を定着させる。
（２）主体的に学習や活動に取り組む児童を育成する。
（３）規範意識を持ち，思いやりの心を持つ児童を育成する。
（４）健康安全に関する理解を深め，自ら体力の向上を図る児童を育成する。

Ｂ：指導体制に関して

（１）校内の研究・研修の充実などを通して，専門職としての力量を高め，質の高い授業の実践や創意にみちた教育活動の推進を図る。
（２）全職員で全児童の指導にあたる態勢を整える。
（３）学校・家庭・地域の連携を密にし，信頼と協力により教育効果を高める。

Ⅳ 本年度の努力点

（１）児童の実態をもとに，保護者・地域の期待に応える教育課程を編成し，指導計画の改善と充実に努める。
（２）授業の質の改善に取り組み，授業力を高め，「朝活動」の時間の活用や「家庭学習の充実」等を通して，学力の向上を期す。
（３）「朝活動」の時間の活用や，読書環境の充実等を通して，読書活動の推進に努める。
（４）小規模校や少人数学級の特性を生かし，個性を重視し，適切な児童理解のもとで豊かな心を育てる生徒指導を推進する。
（５）吹奏楽活動や合唱活動を推進し，豊かな情操を育てるとともに，主体的自主的に考え行動する力の育成に努める。
（６）健康・安全への意識を高め，運動の日常化を図るとともに，運動やスポーツを通して，体力の向上に努める。
（７）学校評価を積極的に進め，地域や保護者との連携を深めるとともに，信頼される学校づくりの実現に努める。
（８）学習環境を整え，施設・設備の効果的利用に努める。
（９）児童一人一人の理解に努めるとともに，いじめ・不登校・体罰などの未然防止に努める。

Ⅴ　めざす教師像・学校像と本校の校訓

○専門職者としての自覚と使命感を持ち，常に自己研修に努める教職員
○子ども・保護者・地域にまごころを持って接することができる教職員
○各分掌間の連携を取り，学校運営の目的達成のために組織的に行動する学校
○校訓「和協進取」のもとに，一致協力して教育活動を進める学校

校　訓　和協進取：和らぎ親しんで心を合わせ，自ら進んでことを成すこと。

教育研究

１　研究テーマ

「自ら学び，生き生きと活動する児童の育成」
～説明的文章の「読むこと」の指導を通して～

２　研究の仮説

国語科「読むこと」において，授業の中で言語活動を工夫することで，文章を読み取る能力を身に付け，自ら学び，生き生きと活動する児童を育成することができるであろう。

３　研究内容

①国語科において，説明的文章の系統的な指導の授業づくりを通して，指導内容・方法を研究する。
②学習規律（南小１１学習スール）の定着を図り，「早川南小スタンダード」といえる授業づくりに取り組む。
③家庭学習について，児童の実態を把握し，家庭学習の手引きを利用しながら，家庭学習の習慣化に向けて研究する。

職員組織

職　名	氏　名	担任・主任等	在	住　所
校　長	小尾一彦	学校経営	2	甲　斐　市
教　頭	深澤順美	学校運営	2	富士川町
教　諭	新津敦美	１年 教務　生活　道徳 キャリア教育	2	南アルプス市
〃	深澤敬子	２・３年 研究 国語 図工　生徒指導	2	富士川町
〃	望月雅城	４・５年 体育 福祉教育	1	富士川町
〃	一瀬絢子	６年 児童会 吹奏楽 外国語活動	2	早　川　町
〃	安藤美由紀	情報 社会 家庭科　総合	1	早　川　町
〃	小田ひかり	音楽 算数 図書	2	早　川　町
養護教諭	深澤千都勢	保健主事　食指導　特支コーディネーター	6	早　川　町
事務職員	古屋樹利	学校事務	3	早　川　町
栄養教諭	小林茉央	（３校兼職・給食センター）	1	早　川　町
司　書	市川美穂	（毎週火・金曜日勤務）	5	身　延　町
用務員	望月一枝		2	早　川　町
ＡＬＴ	ケリー，ジェシー	（毎週火曜日勤務）	2	早　川　町
校　医	朝比奈利明			身　延　町
歯科校医	山内晧央			身　延　町
薬剤師	望月邦代			早　川　町

児童数および年間授業時数

学年	児童数 男	女	計	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道徳	外国語	総合	特活	計
1	0	1	1	306		136		102	68	68		102	34			34	850
2	3	1	4	315		175		105	70	70		105	35			35	910
3	3	2	5	245	70	175	90		60	60		105	35		70	35	945
4	3	0	3	245	90	175	105		60	60		105	35		70	35	980
5	4	1	5	175	100	175	105		50	50	60	90	35	35	70	35	980
6	0	3	3	175	105	175	105		50	50	55	90	35	35	70	35	980
計	13	8	21														

ＰＴＡ役員

役　名	氏　名			
会　長	藤本滋寛			
副会長	宮本高広			
会計監査	久本雅俊　依田聖子			
学年委員長	１年	井出　智裕	４年	望月　教平
	２年	望月　一彦	５年	望月　明浩
	３年	手塚　巧	６年	志賀　敏秀